

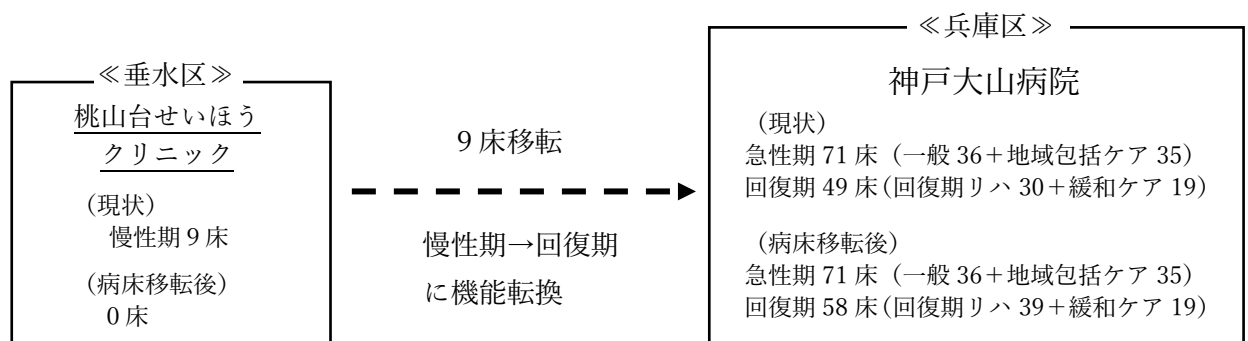
2026 年 7 月 9 日
社会医療法人社団正峰会
神戸大山病院

1. 法人概要

社会医療法人社団正峰会は、1993 年に兵庫県西脇市で 55 床の大山病院を開院、1996 年に医療法人化、2015 年に社会医療法人に変更、開設 33 年の法人です。病院は兵庫県西脇市の大山病院から名称変更した大山記念病院、神戸市兵庫区で神戸大山病院を運営しています。他に兵庫県西脇市・丹波市・神戸市（兵庫区・長田区・須磨区・垂水区・西区・北区）、京都府舞鶴市で医療、介護、障害事業を複合的に運営しています。

2. 病床移転について

今回、同法人で運営しております神戸市垂水区の桃山台せいほうクリニックの病床 9 床を同市兵庫区の神戸大山病院の回復期リハビリテーション病棟に移したいと考えております。神戸大山病院、桃山台せいほうクリニックの現状は以下の通りです。



3. 神戸大山病院の病床稼働状況

2013 年に事業継承にて運営を引き継ぎ、名称変更や改修・増床を経て、2021 年に現在の 120 床の神戸大山病院として運営を開始しています。入院は一般病棟 36 床・回復期リハビリテーション病棟 30 床・地域包括ケア病棟 35 床・緩和ケア 19 床です。内科・外科・整形外科など 18 診療科を届出しています。

直近 3 年の病床稼働は、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟と中心に年平均でも 100% を超える稼働となっており、地域住民の入院希望、近隣病院からの転院希望に応えられず、回復期リハビリテーション病棟を中心に不本意ながらお断りしないといけない状況が続いております。区は違いますが近い将来には診療圏を共にする神戸市立医療センター西市民病院の移転も控えており、更に希望は増えると予測しております。

4. 桃山台せいほうクリニックの有床稼働状況

桃山台せいほうクリニックは、一般病床 9 床の有床診療所として 2005 年に開院、2022 年から社会医療法人社団正峰会が経営を引き継ぎました。現在は、一般病床 9 床に加え、外来では内科・外科・整形外科・リハビリテーションを標榜、併設で定員 30 名の通所リハビリテーションを運営しています。直近 3 年の稼働平均は約 70.0% です。入院患者は慢性期疾

年 月 日

神戸市健康局長 あて

開 設 者

住所（所在地）兵庫県西脇市黒田庄町田高 313 番地

氏名（名称・代表者）社会医療法人社団正峰会

理事長 大山 正人

担当者氏名：別府 尚弘

担当者連絡先：080-1518-6998

担当者メールアドレス：beppu@seihoukai.com

病院増床事前協議書の提出について

標記のことについて、関係書類を添えて提出します。

病院増床事前協議書

1. 開設者に関する事項

(開設者が医師である場合)

氏 名		医 籍 番 号	
住 所		T E L	
開設者が現に病院若しくは診療所を開設管理若しくは勤務している場合には当該医療機関の概要	区 分	開 設 ・ 管 理 ・ 勤 務	
	施設の種類	病 院 ・ 診 療 所	一 般 療 養 精 神 床 結 核 感染症
	名 称	病 床 数	
	所 在 地		
	診 療 科 目		

(開設者が法人である場合)

法 人 の 種 類	社会医療法人	設立年月日	平成 8 年 7 月 22 日
名 称	社会医療法人社団正峰会		
主たる事務所の所在地	兵庫県西脇市黒田庄町田高 313 番地 T E L 0795-28-3688		
代 表 者	氏名	大山 正人	住所 兵庫県神戸市東灘区本山北町 6-11-3
法人の目的、事業	【目的】 本社は、病院、診療所及び介護老人保健施設を経営し、科学的でかつ適正な医療及び要介護者に対する看護、医学的管理下の介護及び必要な医療等を普及することを目的とする。 【事業】 大山記念病院、社会医療法人社団正峰会 神戸大山病院、老人保健施設さんなん桜の里、アザレア舞鶴（介護老人保健施設）、介護老人保健施設 フローラルヴィラ垂水、介護老人保健施設 フローラルヴィラ兵庫、介護老人保健施設 フローラルヴィラ桃山台、社会医療法人社団正峰会 谷上せいほうクリニック、社会医療法人社団正峰会 桃山台せいほうクリニック、多可町立松井庄診療所（指定管理）、桜丘訪問看護ステーション、モンファミーユ舞鶴（認知症対応型共同生活介護事業）、アザレア舞鶴居宅介護支援事業所、モンファミーユ北六甲（認知症対応型共同生活介護事業）、		

桜丘ケアプランセンター、桜丘ヘルパーステーション、桜丘デイサービスセンター、フローラルヴィラ垂水ケアプランセンター、メディケア柏原（認知症対応型共同生活介護事業）、メディケア柏原デイサービスセンター、神戸大山訪問看護ステーション、神戸大山ヘルパーステーション、神戸大山ケアプランセンター、さんなん桜の里ケアプランセンター、桜丘あんしんケアコールセンター（定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業）、ヴェルディアせいほうあんしんケアコールセンター（定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業）、さんなん桜の里訪問リハビリテーションセンター、介護老人保健施設フローラルヴィラ垂水（訪問リハビリテーション事業）、アザレア舞鶴訪問リハビリテーションセンター、モンファミーユ北六甲デイサービスセンター（認知症対応型通所介護事業）、有料老人ホームきょうらく、訪問看護ステーションきょうらく、ヘルパーステーションきょうらく、あんしんケアコールセンターきょうらく（定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業）、さんなん桜の里デイサービスセンター（介護保険法に基づく第1号通所事業）、にしわき北地域包括支援センター（西脇市委託）、丹波市南部地域包括支援センター（丹波市委託）、みらいポケットにしわき（児童発達支援・放課後等デイサービス）、サービス付き高齢者向け住宅グランマーレせいほう、特定施設入居者生活介護グランマーレせいほう、デイサービスセンターせいほう、みらいポケットまいづる（放課後等デイサービス）、舞鶴せいほう保育園（企業主導型保育事業）、有料老人ホーム神戸大山、モンファミーユ舞鶴デイサービスセンター（認知症対応型通所介護事業）、倉梯・倉二・与保呂地域包括支援センター（舞鶴市委託）、正峰会訪問看護ステーション、デイサービス元気塾せいほう、小規模多機能ホームゆうゆう玉津、モンファミーユ伊川谷（認知症対応型共同生活介護事業）、モンファミーユ白川台（認知症対応型共同生活介護事業）、デイサービスファン、デイサービスのむらスタジオ、サービス付き高齢者向け住宅ヴェルディアせいほう、ヴェルディアせいほう訪問看護ステーション、ヴェルディアせいほうヘルパーステーション、駐車場業、不動産賃貸業					
法人が現に、病院若しくは診療所を開設している場合には、当該医療機関の概要	施設の種類	名 称	所 在 地	病床数	備 考
	病院	大山記念病院	兵庫県西脇市黒田庄町田高313番地	199	
	病院	社会医療法人社団正峰会神戸大山病院	兵庫県神戸市兵庫区水木通十丁目1番12号	120	
	診療所	社会医療法人社団正峰会 桃山	兵庫県神戸市垂水区桃山台5丁目1116-16	9	

		台せいほうクリ ニック			
	診療所	社会医療法人 社 団 正 峰 会 谷上せいほう クリニック	兵庫県神戸市北区谷上東町 13-22	無床	
自 己 資 本 比 率 (医療法人の場合)		30.32%			

2. 増床の内容に関する事項

(1) 基本的事項

名 称		社会医療法人社団正峰会 神戸大山病院	
開 設 の 場 所		兵庫県神戸市兵庫区水木通十丁目 1 番 12 号	
増 改 築 予 定 年 月		令和 8 年 9 月	
診 療 科 目	旧	外科、整形外科、リハビリテーション科、内科、循環器内科、大腸・ 肛門外科、消化器内科、人工透析内科、泌尿器科、脳神経外科、腎 臓内科、糖尿病内科、麻酔科、消化器外科、血管外科、ペインクリ ニック内科、ペインクリニック外科、乳腺外科、呼吸器内科、睡眠 障害内科	
	新	変更なし	
病 床 数	旧	120 床（一般 120 床・療養 0 床・精神 0 床・ 結核 0 床・感染症 0 床）	
		病床機能区分（医療法施行規則第 30 条の 33 の 2）による分類 （高度急性期 0 床、急性期 71 床、回復期 49 床、慢性期 0 床）	
	新	129 床（一般 129 床・療養 0 床・精神 0 床・ 結核 0 床・感染症 0 床）	
		病床機能区分（医療法施行規則第 30 条の 33 の 2）による分類 （高度急性期 0 床、急性期 71 床、回復期 58 床、慢性期 0 床）	
病床の利用内容 （看護単位ごとに）	旧	13 室 30 床 利用率 100.5%	18 室 36 床 利用率 97.7%
		14 室 35 床 利用率 104.5%	19 室 19 床 利用率 73.9%
	新	22 室 39 床 利用率 100.0%	18 室 36 床 利用率 98.0%
		14 室 35 床 利用率 100.0%	19 室 19 床 利用率 74.0%
増床の理由及び 病床数設定の考え方 ・提供する医療の内容 ・当該地域の医療事情 ・近隣医療機関との連携等		基準看護又は新看護の内容	地域包括医療病棟 10：1、地域包 括ケア病棟・回復期リハビリテー ション病棟 13：1、緩和ケア病棟 7：1
		規則第 30 条の 32 第 1 項の規定による特例	有（ 号 床） ・（無）

		回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟と中心に年平均でも 100%を超える稼働となっており、地域住民の入院希望、近隣病院からの転院希望に応えられない状況が続いております。今回、当法人で運営している神戸市垂水区の桃山台せいほうクリニックの病床 9 床を廃止、新たに神戸大山病院の回復期リハビリテーション病棟を 9 床増床し、転院希望及び兵庫区の地域医療に更なる貢献をはかります。 桃山台せいほうクリニックは慢性期で病床機能報告を提出しています。神戸大山病院の増床は回復期を希望しており、これらは神戸圏域の慢性期が過剰で回復期が不足している医療状況にも合致していると考えます。	
敷地の状況 (増築する場合)	面 積	㎡	
	自己所有予定の場合	取得の状況	取 得 済 ・ 取得交渉中 ・ 未 交 渉
		交 渉 状 況	
	自己所有予定でない場合	所 有 者	
		使 用 形 態	賃貸借 ・ その他 ()
	他法令解除の必要性	有 ・ 無 内容 []	
建物の状況 (増築する場合)	構 造 概 要	鉄骨コンクリート造 地下 2 階 地上 6 階 塔屋 1 階建 延床面積 7,752.51 ㎡ (444.14 ㎡病院へ繰入)	
	所有予定者	社会医療法人社団正峰会	
	自己所有予定でない場合の使用形態	賃貸借 ・ その他 []	

(2) 施設及び設備に関する事項

増改築内容

棟・階	変 更 前		変 更 後		備 考 (設 備 等)
	用 途	面 積	用 途	面 積	
1 階	EV ホール	5.98 ㎡	EV ホール	5.98 ㎡	電気・空調・換気
	EV	6.65 ㎡	EV	6.65 ㎡	EV
	屋内階段	4.90 ㎡	屋内階段	4.90 ㎡	
2 階	有料老人ホーム居室 1	14.82 ㎡	病室 217	14.82 ㎡	電気・空調・換気・給排水・医ガス
	居室 1 WC	1.27 ㎡	217 WC	1.27 ㎡	電気・換気・給排

					水
	有料老人ホーム居室 2	15.55 m ²	病室 218	15.55 m ²	電気・空調・換気・給排水・医ガス
	居室 2 WC	1.36 m ²	218 WC	1.36 m ²	電気・換気・給排水
	PS	0.76 m ²	PS	0.76 m ²	
	EPS	3.58 m ²	EPS	3.58 m ²	
	有料老人ホーム居室 3	14.31 m ²	病室 220	14.31 m ²	電気・空調・換気・給排水・医ガス
	居室 3 WC	1.28 m ²	220 WC	1.28 m ²	電気・換気・給排水
	PS	0.44 m ²	PS	0.44 m ²	
	PS	0.21 m ²	PS	0.21 m ²	
	有料老人ホーム居室 4	14.76 m ²	病室 221	14.76 m ²	電気・空調・換気・給排水・医ガス
	居室 4 WC	1.20 m ²	221 WC	1.20 m ²	電気・換気・給排水
	PS	0.67 m ²	PS	0.67 m ²	
	有料老人ホーム居室 5	14.58 m ²	病室 222	14.58 m ²	電気・空調・換気・給排水・医ガス
	居室 5 WC	1.27 m ²	222 WC	1.27 m ²	電気・換気・給排水
	PS	0.30 m ²	PS	0.30 m ²	
	有料老人ホーム居室 6	14.34 m ²	病室 223	14.34 m ²	電気・空調・換気・給排水・医ガス
	居室 6 WC	1.20 m ²	223 WC	1.20 m ²	電気・換気・給排水
	PS	0.67 m ²	PS	0.67 m ²	
	有料老人ホーム居室 7	14.34 m ²	病室 225	14.34 m ²	電気・空調・換気・給排水・医ガス
	居室 7 WC	1.28 m ²	225 WC	1.28 m ²	電気・換気・給排水
	PS	0.30 m ²	PS	0.30 m ²	
	有料老人ホーム居室 8	14.79 m ²	病室 226	14.79 m ²	電気・空調・換気・給排水・医ガス
	居室 8 WC	1.14 m ²	226 WC	1.14 m ²	電気・換気・給排水

	PS	0.66 m ²	PS	0.66 m ²	
	有料老人ホーム居室 9	14.97 m ²	病室 227	14.97 m ²	電気・空調・換気・給排水・医ガス
	居室 9 WC	1.33 m ²	227 WC	1.33 m ²	電気・換気・給排水
	PS	0.36 m ²	PS	0.36 m ²	
	有料老人ホーム居室 10	15.09 m ²	処置室	15.09 m ²	電気・空調・換気・給排水・医ガス
	居室 10 WC	1.40 m ²	処置室 WC	1.40 m ²	電気・換気・給排水
	PS	0.82 m ²	PS	0.82 m ²	
	事務室	16.43 m ²	サブスタッフステーション	16.43 m ²	電気・空調・換気・給排水
	更衣室	1.56 m ²	更衣室	1.56 m ²	電気・換気
	便所	1.23 m ²	便所	1.23 m ²	電気・換気・給排水
	個浴	4.00 m ²	個浴	4.00 m ²	電気・換気・給排水
	個浴脱衣室	7.12 m ²	個浴脱衣	7.12 m ²	電気・換気・給排水
	収納 1	4.46 m ²	収納 1	4.46 m ²	
	車椅子便所	5.81 m ²	車椅子便所	5.81 m ²	電気・換気・給排水
	食堂	33.77 m ²	食堂	33.77 m ²	電気・換気・給排水
	洗濯室	3.45 m ²	洗濯室	3.45 m ²	電気・換気・給排水
	汚物処理室	2.43 m ²	汚物処理室	2.43 m ²	電気・換気・給排水
	収納 2	1.50 m ²	収納 2	1.50 m ²	
	廊下 2	98.99 m ²	廊下 2	98.99 m ²	電気・空調・換気
	屋内階段 3	9.33 m ²	階段 3	9.33 m ²	電気
	EV	7.84 m ²	EV	7.84 m ²	EV

(3) 人員に関する事項

人 員 配 置 計 画									
職 名	必要数		予定数	確保済人員	職 名	必要数		予定数	確保済人員
	前	後				前	後		
医 師	10.07	11.32	23.0	23.0	薬 剤 師	2.0	2.0	6.8	6.8
歯 科 医 師	0	0	0	0	管理栄養士	1.0	1.0	4.0	4.0
看 護 師	44.0	48.0	77.5	77.5	栄 養 士			0	0
准 看 護 師			3.4	3.4	診療放射線技師			5.4	5.4
歯科衛生士	0	0	0	0	臨床工学技士			6.0	6.0
看護補助者	0	0	19.8	19.8	調 理 師			0	0
臨床(衛生)検査技師			6.0	6.0	事 務 員			30.0	30.0
理学療法士			26.2	26.2	そ の 他			15.6	15.6
作業療法士			14.0	14.0	計	62.32		237.7	237.7

※ 職名については、各施設の実情に応じて、随時変更してください。

(4) 人員算定根拠及び計算式(医療法第21条各項に基づく必要数)

1日平均入院患者数：増床前 115.938 名／増床後 123.34 名

1日平均外来患者数：増床前 123.3 名／増床後 154.8 名

外来患者に係る取扱処方せん数：増床前 0 枚／増床後 0 枚

※診療科別の該当なし

増床前医師標準員数： $(115.938 + (123.3 / 2.5) - 52) / 16 + 3 = 10.078625$

増床後医師標準員数： $(123.34 + (154.8 / 2.5) - 52) / 16 + 3 = 11.32875$

増床前歯科医師標準員数： $0 / 16 = 0$ 、 $0 / 20 = 0$ 、 $0 + 0 = 0$

増床後歯科医師標準員数： $0 / 16 = 0$ 、 $0 / 20 = 0$ 、 $0 + 0 = 0$

増床前看護師(准看護師)標準員数： $115.938 / 3 = 38.646 = 39$ 、 $123.3 / 30 = 4.11 = 5$ 、 $39 + 5 = 44$

増床後看護師(准看護師)標準員数： $123.34 / 3 = 41.1133 = 42$ 、 $154.8 / 30 = 5.16 = 6$ 、 $42 + 6 = 48$

増床前薬剤師標準員数： $115.938 / 70 = 1.6562 = 2$ 、 $0 / 75 = 0$ 、 $2 + 0 = 2$

増床後薬剤師標準員数： $123.34 / 70 = 1.762 = 2$ 、 $0 / 75 = 0$ 、 $2 + 0 = 2$

増床前看護補助者標準員数： $0 / 4 = 0$

増床後看護補助者標準員数： $0 / 4 = 0$

(5) 関係者との協議に関する事項

関 係 者	協議状況及び結果
地 元 医 師 会	兵庫区医師会 神戸圏域における病床配分により、回復期リハビリテーション病床を9床増床することについて特に問題の無いこととする。 垂水区医師会 神戸圏域における病床配分により、9床を神戸大山病院へ移動・再編を実施しても、地域医療提供体制に支障を来すものではないと判断する。
神戸圏域地域医療構想 調整会議 病床機能検討部会	
そ の 他	

注) 地元医師会、神戸圏域地域医療構想調整会議病床機能検討部会については、意見書等を添付すること。

新規開設又は増床を行おうとする病院の地域医療介護連携に関する申立書

病院名	社会医療法人社団正峰会神戸大山病院		所在地	兵庫県神戸市兵庫区水木通 10 丁目 1-12		
電話番号	078-578-0321	二次医療圏域名	神戸医療圏	保健所名	神戸市保健所	

1. 病院の特色（提供しようとする医療の内容）

(1) 医療の分野について（対象患者、診療科目等について）

2013 年に事業継承にて運営を引き継ぎ、神戸ゆうこう病院として開院しました。名称変更や改修・増床を経て、2021 年に現在の 120 床の社会医療法人社団正峰会神戸大山病院として運営を開始しています。入院は地域包括医療病棟 36 床・回復期リハビリテーション病棟 30 床・地域包括ケア病棟 35 床・緩和ケア 19 床です。内科・外科・整形外科など 20 診療科を届出しています。一般急性期の救急搬送患者、外来ウォークイン患者、高度急性期後のリハビリテーション患者、診療所・介護保険事業所との連携による緩和ケア患者を受け入れる。また、訪問診療の提供と地域診療所との連携により在宅復帰後の在宅療養を支援しています。回復期リハビリテーション病棟では、高度急性期病院からの転院も多く受け入れ直近 3 年は稼働率 100%を超過している。

(2) 医療の専門性について（設備・医療スタッフ等についても記入すること。）

医師、看護師、薬剤師、栄養士、リハビリ、MSW など多職種連携・協働を図り、チーム医療の提供、365 日のリハビリテーション提供、在宅復帰の支援に努めています。今回増床を予定している回復期リハビリテーション病棟では、在宅生活を念頭においた個別訓練に加え趣味活動や集団訓練などを病棟職員だけでなく多職種協力のもとリハビリテーションの提供やスプリント製作にも力をいれています。また、心大血管疾患、脳血管疾患、呼吸器、がん患者などの疾患別のリハビリテーションの実施と関連する設備・機器も取り揃えている。

2. 当該診療圏域の状況

(1) 対象に考えている診療圏について

二次医療圏域名	区 名
神戸医療圏	兵庫区、長田区、須磨区、中央区、垂水区、北区

(2) 患者の特色及び医療ニーズについて

神戸医療圏全体では人口は減少予測となっているが、医療需要は全国平均を上回ると見込まれる。また、医療が必要となると思われる高齢者人口は、2040 年に向けて増えていくと推計されている。今後も医療ニーズは増えていくと考えられる。

(3) 既存の医療機関について、（特に、提供しようとする医療が同じものについて）

① 病院の状況について

名 称	病床数	診 療 科 目	役割分担等についての方策	備 考
吉田病院	139 床	内科、外科、脳神経外科、リハビリテーション科、麻酔科、循環器内科、脳神経内科	脳血管疾患等を中心に回復期リハビリテーションを提供されており、当院は運動器疾患を中心に提供することで役割分担をはかる。	
神戸百年記念病院	199 床	内科、消化器内科、循環器内科、糖尿病内科、リウマチ科、腎臓内科、漢方内科、小児科、外科、乳腺外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、耳鼻咽喉科、眼科、泌尿器科、精神科、麻酔科、皮膚科、産科、婦人科、放射線科、リハビリテーション科	地理的に区の南部と中部と違いがあり、来院範囲は重複していない。救急患者連携搬送料 1 の届出をされていることから自院急性期等の転倒が中心とされている。当院は転院を受けるための病床確保としており、役割分担をはかる。	

② 診療所の状況について

兵庫区内だけでも回復期リハビリテーションの対象と考えられる整形外科や脳神経外科などを標榜されている診療所が約 20 診療所あり、普段より入院相談などの病診連携を図っている。

(4) 対象に考えている患者の推定数及び将来予測について

回復期リハビリテーションの対象となりやすい高齢者人口は、2040 年に向けて増えていくことが予測されている。また、当院実績として直近 3 年間に於いて、回復期リハビリテーション病棟の稼働は 100%を超過しており、転院などのご相談に応えられていない状況となっていることから需要はあると予測される。

3. 地域医療・介護の連携

(1) 取り組みたいこと又は、取り組んでいることについて

回復期機能の拡充により更なるリハビリテーションの充実を図り、在宅復帰により一層取り組んでいきたいと考えています。また、現在は稼働により応えきれない高度急性期病院などからの転院ニーズにも対応していきたい。在宅復帰された以降も、訪問診療の提供、地域の診療所や介護保険事業所とも連携により在宅生活の継続ができるよう支援していきたいと考えています。

(2) 医療機関との連携

医 療 機 関 名	内 容	具 体 例	医 療 機 関 名	内 容	具 体 例
西市民病院	①②③	転院受入、転院搬送	牛久愛和総合病	⑥	画像診断依頼

			院		
中央市民病院	①②③	転院受入、転院搬送	池上総合病院	⑥	画像診断依頼
神戸大学病院	①②③	転院受入、転院搬送	吉田病院	①②	転院搬送
谷上せいほう クリニック	⑧	在宅支援病院（連携）	板宿クリニック	⑤	MRI 検査の受託
桃山台せいほう クリニック	⑧	在宅支援病院（連携）	しおかぜメモリー クリニック	⑧	在宅支援病院（連携）

〈注〉内容には、次のうちから該当するものの番号を記入すること。

- ①患者の紹介 ②連絡会の開催 ③後方病院、三次医療を受けもつ病院等への搬送
 ④共同症例検討会等の開催 ⑤検査の受託と委託 ⑥画像診断等の診療支援
 ⑦高額医療機器の利用 ⑧オープン病院的な運営 ⑨その他

(3) 医療機関以外との連携

機 関 名	連 携 の 内 容	備 考
フローラルヴィラ兵庫	連携医療機関、退院支援先	
フローラルヴィラ垂水	連携医療機関、退院支援先	
フローラルヴィラ桃山台	連携医療機関、退院支援先	
ふれあいホーム	連携医療機関、退院支援先	
アネシス兵庫	退院支援先	
みどり苑	退院支援先	

〈注〉医療機関以外としては、介護サービス事業所、障害福祉サービス事業所等の社会福祉施設が考えられる。

(4) 地域保健医療活動等への参加（住民の健康管理等）

2 ヶ月に 1 回、健康ふれあい教室との名称で当院を会場とし医師による健康講座や医療啓蒙活動の開催をしている。他にも毎月地域に出向いての医療啓蒙や健康教室のいきいきサロンを開催している。また、人間ドック、健診にも実施しており、婦人科検診、乳がん検診などにも力を入れている。

4. その他の特記事項

[]

増床に要する資金

資金計画

(単位：千円)

項 目		所要額	財源内訳					備考
			自己資金	借入金	補助金	その他		
建設 改良 費	施設整備費(購入費)							
	設計監理費							
	土地取得費							
	造成・外構整備費							
固定 資産 購入 費そ の他	医療機器購入費							
	什器備品購入費							
開設時運転資金								
その 他費 用								
計								

※併設既存建物（有料老人ホーム）を病床転換のため作成なし

返済計画

借入金				返済計画						
借入先 (金融機 関名等)	返済条件			金額		初年度	次年度	3年度	4年度	5年度
	据 置 期 間	償還 回数 年回×年	利 率 %			年月 ～ 年月	年月 ～ 年月	年月 ～ 年月	年月 ～ 年月	年月 ～ 年月
					元本					
					利息					
					元本					
					利息					
					元本					
					利息					
					元本					
					利息					
合計					元本					
					利息					
年度末借入金残額										

※併設既存建物（有料老人ホーム）を病床転換のため作成なし

損益的収支予算書

(単位：千円)

	初 年 度 (R8年4月～9年3月)	次 年 度 (R9年4月～10年3月)	3 年 度 (R10年4月～11年3月)	4 年 度 (R11年4月～12年3月)	5 年 度 (R12年4月～13年3月)
I 医 業 収 益	2,554,000	2,610,000	2,630,000	2,640,000	2,650,000
II 医 業 費 用	2,618,000	2,620,000	2,620,000	2,625,000	2,630,000
医業利益(医業損失)	-64,000	-10,000	10,000	15,000	20,000
III 医業外収益	105,000	105,000	105,000	105,000	105,000
IV 医業外費用	89,000	85,000	81,000	77,000	73,000
経常利益(経常損失)	-48,000	10,000	34,000	43,000	52,000
V 特別利益	0	0	0	0	0
VI 特別損益	0	0	0	0	0
税引前当期利益(税引前当期損失)	-48,000	10,000	34,000	43,000	52,000
当期純利益(当期純損失)	-48,000	10,000	34,000	43,000	52,000
前期繰越利益(前期繰越損失)	-2,415,582	-2,463,582	-2,453,582	-2,419,582	-2,376,582
当期末処分利益(当期末処理損失)	-2,463,582	-2,453,582	-2,419,582	-2,376,582	-2,324,582

※開設5年度の時点で経常損失がある場合は、経常赤字が解消できるまでの期間までの
損益収支予算書を添付すること

患者が多く、入院目的はレスパイトが中心となっており、直近の病床機能報告でも慢性期として報告させていただいております。

5. 展開と影響への対応

桃山台せいほうクリニックの有床診療所の9床を神戸大山病院の回復期リハビリテーション病棟として病床移転を図り、より一層の地域ニーズに応えたいと考えています。移転先は神戸大山病院2階の現在有料老人ホームを病床に転換します。神戸大山病院は増床の際、160床を希望していました。結果、120床となっていますが、この有料老人ホーム部分は当初より病床転換を予定している部分でしたので、改修工事等は不要となっています。

有料老人ホームの入居者は、2026年4月に開設しましたサービス付き高齢者向け住宅に転居し引き続き支援していきます。桃山台せいほうクリニックは、患者像からも同区内の2か所の老人保健施設、前述のサービス付き高齢者向け住宅、桃山台せいほうクリニックの外來などで引き続き支援できると考えています。

これらの状況から垂水区から兵庫区へ病床移転をおこなっても患者様への影響は最小限に留めつつ、垂水区の医療体制は維持し、兵庫区の地域医療への更なる貢献ができるものと考えております。また、慢性期が過剰で回復期が不足している神戸医療圏域の病床状況にも合致していると考えております。

社会医療法人社団 正峰会 殿

社会医療法人社団 正峰会が運営する社会医療法人正峰会
神戸大山病院の増床に関する事項について

社会医療法人正峰会 神戸大山病院（住所：神戸市兵庫区水木通10丁目1-12）の回復期リハビリテーション病床の増床に関して、令和8年6月24日神戸市兵庫区医師会執行幹部会（三役会）における協議の結果を下記に記載いたします。

記

1. 神戸圏域における病床配分により、回復期リハビリテーション病床を9床増床する。

以上

上記内容について、神戸市兵庫区医師会として特に問題の無いことを記します。

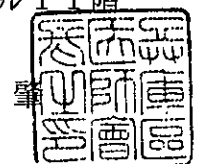
令和 8 年 6 月 2 4 日

神戸市兵庫区大開通1丁目1-1

神鉄ビル11階

神戸市兵庫区医師会

会 長 水 谷



社会医療法人社団 正峰会 御中

社会医療法人社団 正峰会 桃山台せいほうクリニックにおける
回復期リハビリテーション病床移動に関する意見書

社会医療法人社団 正峰会が運営する桃山台せいほうクリニック(神戸市垂水区桃山台 5 丁目 1116 番 16 号)における回復期リハビリテーション病床の9床の移動につきまして、令和 8 年 6 月 26 日開催の神戸市垂水区医師会理事会において慎重に協議いたしました。

その結果、下記のとおり確認いたしましたので意見書として提出いたします。

記

1. 神戸圏域における病床配分の中で、桃山台せいほうクリニックの回復期リハビリテーション病床 9 床を同法人が運営する神戸大山病院(住所:神戸市兵庫区水木通り10丁目 1-12)への移動・再編として実施されるものであること。

以上の内容を踏まえ、本件につきまして神戸市垂水区医師会として、地域医療提供体制に支障を来すものではないと判断いたします。

令和 8 年 6 月 26 日

神戸市垂水区星陵台 4 丁目 4 番 37 号

神戸市垂水区医師会

会長 久保 清景

